**6月17日　株式会社リンク・アイ　取締役　高嶋　大生　氏**

**問1　学んだこと、印象に残った言葉、講師へのメッセージ**

“人はなかなか変われないとよく聞いたことがあったけれど、じゃんけんを用いたゲームでそれを実感することができました。楽しかったです(笑)”未来は自分の選択で変えられる“という言葉がとても心に残りました。企業と個人の関係の変化やキャリアデザインについては日頃から自分で考えて問題意識を持っていたことだったので、理想の自分に近づくために。今の選択を１つ１つしっかりしていこうと思いました。また、私は何かの才能があるわけでは全くないのでそれを高嶋さんのように努力で補っていきたいです。努力で結果を出して仕事を楽しんでいる高嶋さんの姿にとっても勇気をいただきました。リスクをとって成長すること、自分が出来ると思った瞬間に成長は止まること、自分の出来ないことに挑戦すること、どの言葉もとっても印象に残りました、私も常に挑戦し、成長し続けられるような人になりたいです。(経営学部経営学科、１年)

　「現在＝企業に頼るのではなく自分に頼ることが求められる時代」という言葉や、「人間の寿命より企業の寿命の方が短い」という言葉、「相互拘束関係から相互選択関係」という言葉から、21世紀現在の企業と人の関係は変わってきているのだと実感した。自分も言われたままの仕事を何年、何十年もやり続ける会社に入社するよりも、本気で取り組み他の何倍もの速さで成長させてくれる会社に入社したいと思った。また、「リスクを冒さないと何も得るものは出てこない」という言葉に感銘を受けた。どうしても保守的になってしまう自分がいたが、無理だと思っていることに積極的に挑戦していきたい。フィールドが自分を成長させるのではなく、自分自身が己を成長させるという言葉を肝に銘じて、これからの大学生活を過ごしていきたいと思う。（経営学部国際経営学科　1年）

　これまで、ベンチャー企業を建てた方々の話は聞いていたが、ベンチャー企業に入社した話は初めてでした。25歳という年で様々なリーダーを携わったと聞いて、相当な量の仕事をこなしてきたのだと思いました。国の政策が私達若者に保守的に思わせるということは、本当にそうだとも感じました。私の親戚も、そういう面で保守的になれ、と言いますが、どれだけ努力するかが決め手だと思います。最近、気が緩んでいるというような感じがしますし、努力をしていかなければと今回のスピーチで考えさせられました。つまらなかったとしても、自分が決めた道は、できるだけ続けなければならないし、すぐにやめてはいけないという高嶋さんの意見は素晴らしいと思いました。何事も努力したことはついてくると思うし、すぐ諦めず、10年励もうとする会社員になりたいと思いました。（経営・国際経営　1年）

　やりたいこと、ではなく、なりたい自分を考えて、そうなるように頑張るという考えに目が覚めました。今まで生きてきて、自分のやりたいことがいまいち見つからないまま、大学生になってしまいました。しかし、この言葉を聞いて、「やりたいこと」がないのであれば、「なりたい自分」を探してみるという新しい就職目標が自分の中でできました。また、リンクアイが掲げている「人材の大切さ」は、今自分が興味を持っている終身雇用の問題にとてもマッチしていておもしろかったです。（経営・経営システム　1年）

終身雇用制が終わりを迎え始め、自らのキャリアデザインを「自由に」できるようになったことは聞こえはいいけれど、それと同時に恐さも感じた。実際の問題として、内定をもらえず就職先がない人たちが多くいる中で、自分がしっかりと行動しなければいけないと思った。正直、今の時点で就職のために何をすればいいかは見当もついていない。ただ、高嶋さんのお話を聞いて何か一つのことを本気でやってみようと思った。「量が質に転換する」という言葉を聞いて、自分の受験勉強を思い出した。たくさんこなして、自分のできないところを自覚して改善していくという意味では将来的にも重要だと思った。また、「やれることを増やす」というのは今までの自分にない視点でとても印象的だった。（経済学部経済システム学科１年）

モチベーションを切り口としたコンサルティングというのは初めて聞いた発想だった。今回の講義では成長とは何かを考えた。私も成長するには自分自身と環境が必要だと思う。それを面接官と喧嘩してまで主張した高嶋さんは、自分を持っていて素晴らしいし、かっこいいと思った。私は、最近、大学に入学したことでゴールを迎えた気になっていたが、今日のお話を聞いて、これから先の人生の方が当たり前であるけれど、長いのだから、大学の4年間は、先の人生のためになる過ごし方をしなければならないと改めて思った。「大学時代が一番楽しいから今のうちに楽しめ」という言葉を私もよく聞くが、大人になった時に大学生にそんな言葉をかける大人になりたくないと思った。（経営/国際経営1年）

**問2　今後のアクションに繋げていきたいこと**

才能がないならまず努力する。まずは、自分に才能がないということを認めること。自分には出来ないことを認めるということから始めなくては、努力をするという行為には繋がらない。自分自身を高めるためには、自分が努力することは当たり前である。自分の弱さを認めて、自分を高めるために、毎日努力を怠らず続けるようにしたい。（経営/経営1年）

”人の寿命のほうが企業の寿命よりも長い”この言葉は衝撃でした。１つの企業に一生勤められる時代は終わったのだとおっしゃっていたので、この時代についていけるように自分の本当にやりたいことにはきちんと信念をもっていきたいと思いました。大学生活でやらなければならないこと、やりたいことはすべてしたいと思います。（経営学部経営システム科学科１年）

「やりたいこと」と「やれること」が重なる状態が理想というお話がとても参考になりました。大学生活を4年間送る上で4年後に向けて何をすればよいのか不安であったが、高嶋さんのお話を聞いてまずは「やれること」を増やすことに集中したいと思えました。

今後の人生で「やりたいこと」を増やしたい。（経営学部　経営学科１年）

　企業が人材に求められる力と学校教育で教えられる力が異なるという話を最近よく聞くし、事実であるとさまざまな経営者の方の話を聞いて感じている。このギャップを埋めるための努力を大学生活の中に行っていきたい。（経営・経営　1年）

　私は今までやりたいことをとても探していましたが、やれることから探すというのも新しい視線でいいなと感じました。なので、社会起業にばかり求めるだけでなく、自分からやれることを増やしていきたいと考えました。（経営学部経営学科　１年）

授業スタッフの感想１
　講義後のお話で今回は企業さんからの参加希望と聞いて少し嬉しく思いました。お忙しい時間の中大学生にお話をしていただけることは有難いです。日本の大学生はやる気が薄いと言われる中でそんな大学生のモチベーションを上げるための活動をされていることが大学生も見捨てられていないんだなと思えて嬉しかったです。

授業スタッフの感想２

　私は今一応はやりたいことが出来つつあります。しかし、私は非常に人に流されやすく、そのやりたいことも焦って決めてしまっているような気がして、ここぞというときに決心ができないでいます。しかし、今回のお話を聞いて、やりたいことを無理に探すことはやめて、やれることを明確にしてやっていきたいと思いました。本日は貴重なお話、ありがとうございました。

授業スタッフの感想３

今まで講演してくださった方は皆、自分のやりたいことをしっかり見つけて、それを行動に移しています。しかし、私達学生はまだ将来やりたいことが不明確な人が多いと思います。講義を聞くたびに、自分のやりたいことは何だろうと模索する日々が続いていましたが、今日のお話を聞いて、まず今自分のできることを全力でやろうと思いました。本気ってかっこいいなって思いました。